

## 《課題名》

一般市中病院における直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術の有用性

## 《対象者》

当院において2007年1月1日以降に直腸癌に対し手術を行なった、また今後、2025年12月31日までに行う患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「一般市中病院における直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術の有用性」という研究を行います。この研究は、当院で2007年1月から2025年12月までに直腸癌で手術を受けた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示などによるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。また希望されれば、計画書等研究に関連する資料を個人情報保護と研究に支障がない範囲に限り閲覧することができます。

### (1) 研究の概要について

研究課題名： 一般市中病院における直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術の有用性

研究期間： 承認日～2031年12月31日

実施責任者： 長浜赤十字病院 外科 第二外科部長 園田 寛道

### (2) 研究の意義、目的について

#### 《研究の意義、目的》

近年、特に地方において外科医不足が進行しています。昨年、わが国でも直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術が保険承認され、外科医不足を解決する手段として期待されていますが、その有用性については明らかではありません。今回、当院で治療を行った、また今後行う直腸癌の治療成績を前向き、後方視的に検討し、直腸癌におけるロボット支援腹腔鏡手術の有用性について明らかにすることを目的としています。

### (3) 研究の方法について

#### 《研究の方法》

前向き、後ろ向き観察研究。当院で2007年から2025年に直腸癌に対し手術を行なった、また今後行う患者さんのカルテ、当科のデータベースより患者さんの年齢、性別、身長、体重、疾患名、手術日、術式、術前治療、術前診断、病期、原発巣の腫瘍占拠部位、手術時間、術中出血量、術後合併症、術後在院日数、術式、術後補助化学療法、再発の有無、時期、抗癌剤治療経過、放射線治療経、病理診断結果、予後（再発確認日、死亡日）といった情報を利用します。

### (4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

### (5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報は個人を同定できないよう、情報は匿名化番号を用いて管理し、個人と匿名化番号の対応表は厳重に管理します。また、研究発表時にも個人が特定されることはありません。

### (6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

**(7)利用又は提供の停止**

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができません。停止を求められる場合には、2025年12月31日までに下記（8）にご連絡ください。

**(8)問い合わせ等の連絡先**

長浜赤十字病院 外科 園田寛道

住所：526-8585 滋賀県長浜市宮前町1-4-7

電話番号： 0749-63-2111（代）